

波紋

創刊 1985 年 (昭和 60 年) 7 月

2017 年 7 月
No. 385 号

「鎌倉、横浜」「沖縄」慰安旅行



5/26～5/28 と慰安旅行に行ってきました。
 「鎌倉、横浜」組は1泊2日
 「沖縄」組は2泊3日
 私は沖縄に行かせてもらい、
 梅雨時期だったのに三日間中二日も
 晴れという奇跡。
 今年も色々楽しませていただきました。
 来年も幹事さんよろしくお願い致します。
 柳原

月間 MVP、やっています

森 直樹 (代表取締役社長)



梅雨入りしたもののなぜか初夏の様な気候が続いております。私自身の感覚として、日本の気候自体が年々暑くなっている様に思います。ゲリラ豪雨という言葉が登場したようにいわゆるスコールが多いといった温帯より亜熱帯のような気候へ変化しているような気がします。そこで名古屋の年平均気温の変化を調べてみました。40年前と比較して年平均気温はプラス2度。降水量はほぼ変わらず。大幅な変化とは言えませんでした。変わっていることには間違いないようです・・・。

森松では昨年より、「月間 MVP」の表彰を行っております。その名の通り、その月々で活躍した人を表彰し、賞品として金一封を渡すというものです。表彰可能な上限は設けておりませんので1名から複数名、毎月受賞するチャンスがあります。MVP表彰者の選出は会長・社長と幹部社員によって行われております。5月度受賞者は2名、アシスタントの大和田さん・小坂さんが受賞いたしました。改めましておめでとう御座います！また現在の選出方法も、今後改善していく余地はありますので、より社内の意欲を高めていく社内表彰制度として、今後も継続して行きたいと思っております。

そして告知ですが、今年も開催します。第25回元気の出る森松展、9月の7日(木)～9日(土)と昨年より1日長く、3日間の開催となります。会期を拡大し、より多くの皆様にじっくりと展示会をご覧頂けるよう、従業員一同準備して参りますのでご期待下さい！



天才 田中角栄

吉岡 孝記（営業部）



昨年、石原慎太郎が天才と言う田中角栄さんの生涯を書いた本を読みました。50歳以上の方は良くご存知かと思いますが、若い方は田中真紀子さんの方がご存知かと思います。私が中学生の頃にロッキード問題が発覚しよく、よっしゃ、よっしゃで2億円とか、ピーナッツとか言われたのを思い出します。

田中氏は1918年に生まれ土方をしながら夜間高校を卒業、一生懸命働いて建設事務所を開設。1度立候補するが落選、2度目の選挙で当選し総理までのぼり詰めた人です。有名なのはやはり「日本列島改造論」でしょうか。新幹線を日本中に走らせ、各県に飛行場を設置する。そうすれば国民はこの国のどこへでも簡単に往けるし、地方の特色は保たれ文化が栄える。狭小な国土しか持たない国はコンパクトながらもものすごく機能的なものになるという発想は国民のど肝を抜きました。これは建築業に携わっていた事から生まれた発想でしょうか。また、政治は数だと言い親分肌でたくさん仲間を増やしていきました。そのためにたくさんのお金を集め子分に配ったそうです。このへんが、金丸信、竹下登、小沢一郎たちに受け継がれていったのでしょうか。石原慎太郎氏は田中氏の高権政治に弓を引いた人物でした。面白いエピソードがあります。あるところで石原氏が偶然田中氏にあったそうで、田中氏から声がかかり、「おお石原くん、久しぶりだなあ、ちよつとここへ座れよ」と言って自ら椅子を用意して座らせビールを頼んでくれたそうです。流石に先般はいろいろとご迷惑をかけましてすみませんと頭を下げたそうですが「ああ、お互い政治家だ。気にするな」と言ったそうです。このへんの懐の広さが人をたらししていくのかなと感じました。田中氏の金権政治を批判して戦った石原氏でさえも天才と言わせる凄さ、40近い議員立法も成立させた実績もありこんな政治家はもう生まれて来ないでしょう。最近安倍さんのまわりで森友学園や加計学園問題などきな臭い話がありますが、10年後どのように評価されるのでしょうか。

聖地甲子園

安井 浩二（企画営業部）



甲子園球場へ野球観戦に行ってきました。え？タイガースファン？実は……子供の頃は学校が終わると頻繁に中日球場へ行くドラゴンズファンだったんですが、ナゴヤドームになり屋根のある球場がなんかでかい体育館みたいで……。やはり夜空の下で照明のあたるグラウンドが好きです。10年ほど前に初めて甲子園球場で野球観戦をしたとき、久しぶりのワクワクを感じました。さらに球場全体が熱狂的なタイガースファンの応援を体験し、すっかり洗脳されてしまったのが理由です。

さて、野球観戦の前に、スタジアムツアーに参加してきました。内容は普段では入れないところを見学できるツアーです。まず、アルプス席横の通路を進むといざグラウンドへ。ツアーメンバーは皆、思わず「おお」。スタンドから見る景色とは全然違います。スコアボードにバックスクリーン、ネット裏の銀屋根、すり鉢型の観客席。これが甲子園だ。と感動！しかし残念ながらファールグラウンドの人工芝のところまでダイヤモンド内へは入れません。試合前ということでグラウンド整備をされていましたが目の前に、甲子園の土。まるでココアパウダーみたい。そして天然芝。ものすごく綺麗でした。「野球の聖地」といわれるのがうなずけます。このグラウンドで試合ができれば……。そして三塁ベンに座らせてもらうことができます。数々の名選手が、ここへ座ったのかと思うと、また感動！他には、インタビュースペース（高校野球で勝利チームがインタビュースされるところ）や練習ブルペンも見学できました。

ツアー料金は¥1500。その中には、甲子園資料館（タイガースや高校野球の歴史や展示物）も見学できます。

さて、試合は広島との首位攻防戦。

4-0からの逆転勝利！ジェット風船を飛ばし六甲嵐が鳴り響くライトスタンドで大騒ぎ。楽しい一日でした。



慰安旅行

伊東 義弥（特販部）



今年の森松の慰安旅行は、「沖縄」と「横浜・鎌倉」に班を分けて行きました。なんと今回の主幹事を務めさせていただいたのが私です。幹事の仕事は何度か関わってきたのですが、メインとなると全く別の役割が多く相当バタバタしていたと思います。何度も旅行会社様と打ち合わせ、すり合わせをして何とか当日を迎えることができました。沖縄組は2泊3日の旅程です。1日目は那覇空港に到着後、国際通りにあるステーキハウスで昼食。首里城を観光してから沖縄の米軍基地を横目にバスを走らせアメリカンビレッジを楽しみ、恩納村にあるホテルへ。2日目の午前中はフリータイム。各々が好きな場所朝食をとってマリンスポーツを楽しんだり海で遊んだりしました。午後からは万座毛からの景色を見て美ら海水族館に行きました。美ら海水族館では、ジンベイザメの餌付けやイルカショーなどもやっており、普段見ることもない光景を楽しみました。帰りに古宇利大橋を渡りきれいな海を見てハートロックも見ることができました。夜はみんなでBBQをやり大いに盛り上がりました。3日目はちょうど梅雨入りの時期ということもあり、雨に降られてしまいました。座喜味城跡を観光した後、国際通りで自由時間を過ごし、お土産を買ったり、食事を楽しみました。沖縄の綺麗な海と空、白い砂浜と美人なバスガイドさん！（笑）とても楽しく充実した3日間を過ごすことができ、大満足の旅行となりました。主幹事として大変なこともたくさんありましたが、大きな問題もなく無事に過ごすことができたのも協力していただいた皆さんのおかげだと思っています。何よりサポートしていただいた他の幹事の方々、有難うございました。次回の慰安旅行は幹事の方をサポートさせていたきたいと思います。有難うございました。



はじめまして

伊藤 ゆかり（特販部）



昨年9月に入社した、伊藤ゆかりと申します。私は初めて務めた病院の健康診断の医療事務から、水回り商品（給排水管や水栓、トイレや工具など）を売る卸売り会社の一般事務、そして今は森松社員の一員として特販部の営業アシスタントを務めさせていただいています。現在に至る間に、簿記の勉強や色々なパソコンソフトの操作方法など、様々な勉強をしてきました。その間いろいろな方との出会いと別れを経験しましたが、いつも周りの方々に支えられていたことを実感しています。現在も森松の社員の皆様や、友人、家族に支えられて今があると思います。とても感謝をしながら仕事をしています。森松へ入社を決めたのも、社員の方々の人柄や雰囲気、とても活気のある会社で、いつも先を見据えて頑張っているところがとても魅力的で入社を決めました。趣味は登山や音楽が好きなので、登山や音楽についてお話できる方がいたらうれしいです。まだまだ至らないところがあり、勉強しなければいけないところが沢山ありますが、皆様と一緒に仕事ができることをうれしく思っています。これから頑張っていくしますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。



7月の予定

1日(土) 第一土曜日休み

3日(月) 黒松康郎さん誕生日

8日(土) 第二土曜日休み

15日(土) 第三土曜日休み

17日(月) 海の日休み

22日(土) 第四土曜日休み

第62回中川金魚まつり

森松甲冑隊出陣18時50分

24日(月) 生産会議12時

CS会議14時10分

29日(土) 第五土曜日休み

森松株式会社のオリジナルキャラクター
守り隊の『マモーリン』誕生しました！



BUY NOW!



このたびLINEスタンプデビュー☆
全40種類100円で販売しています！
いますぐクリックしてね！



森松株式会社 社内報

No: 385 平成29年 6月 29日

編集者 大石耕平 小坂美香 村上美和子

稲葉善貴 柳原 瞬 間部将大 伊藤ゆかり

近藤結礼 加藤俊輔

手羽先サミット 2017

藤木 方子 (森松産業)



6月の9日から11日まで3日間開催された手羽先サミット2017に行ってきました。手羽先サミットとは、手羽先唐揚げ発祥の地である名古屋で開催される手羽先の頂上決戦で来場者の投票で手羽先の世界一グランプリが決定するイベントです。手羽先を購入すると引換券がもらえ、それをまたコインと引き換えて投票箱に投票する流れです。どれだけ引換券を持っても投票できるのは一人一コインつまり一票までとなります(中には何度投票する人もいるらしいですが・・)。公式キャラクターは手羽先の妖精テバッキー。今年で4回目となり、昨年までは熱田区の金山総合駅南口で開催されましたが、今年は栄の久屋大通公園に進出。いままでは以上にスケールアップして開催されました。隣のエゼル広場では第1回あいちめし。2017も同時開催。2日目の土曜日に行きましたが、昼頃広い会場には、すでに大勢の人で賑わっていて、様々な種類の手羽先を楽しんでいました。およそ30もの店舗が出店されていて(愛知県からは13店舗)、種類が多く1日で食べきるのは少々きつい感じです。世界の山ちゃん、宮崎県手羽先番長は殿堂入りとなっておりグランプリ投票外。ステージイベントやカラオケコンテストもやっていて、飲食をしながら楽しく時間を過ごすことができます。今回のグランプリは日本初上陸となる七面鳥の手羽先が目玉のサガミチェーンが受賞。通常のサイズの7倍以上となる手羽先に興味津々でしたが、残念ながら数量限定で食べることはできませんでした。金賞2位は石川県より金澤手羽先鳥珍や。金沢かがやきブランドにも認定されている金沢を代表する手羽先です。醤油ベースのたれにビールが最高に合います。こちらは通販でも買えるそうです。金賞3位はチューリップ手羽先が目を引く岐阜県にある勝分商店、衣がサクサクで甘辛だれが絶品でした。行列もたくさんできていたので、個人的にはこちらが一位になるのではと思っていました。福岡県魔法の手羽先、最強の手羽唐菜はパンフレットを見て気にはなっていました。福都合により出店されておらず心残りでした。総来場者数はなんと3日間で約12万人だったそうです。これだけ多くの種類の手羽先が一堂に集い、食べ比べることはなかなかできることではありませんし、名古屋以外の手羽先を食べる機会というのもあまり無いと思いますので、来年開催された際は皆様も立ち寄ってみる価値は大いにあると思います。きつとお気に入りの手羽先の味に出会えると思いますよ。